

生命科学概論

前期 10 コマ (ユニット 1 ～ 6 : 2 単位)

評価責任者 : 研究科運営委員長

〔一般目標〕

研究計画を立案・遂行し、得られた結果をまとめ、発表する課程で必要となる基本的な手技、方法などを総合的に習得する。

〔教育方法〕

スライド、プリント、学内 LAN による講義、演習

〔評価〕

口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日時 限	授 業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	4/9 (火) 1 限	日高 (研究科 運 営 委 員長)	ユニット 1 研究・実験 計画法	研究構想に基づいて研究・実験計画を作成する作業手順を理解する。	1) 研究の動機・関心を踏まえて研究目的を定める。 2) 研究の背景を探り、作業仮説を立てる。 3) 仮説を立証するための実験デザインを考える。 4) 研究倫理・安全上の手続きと結果の分析方法を考える。 5) 実験計画書 (架空) の作成の練習をする。	大学院で研究をする動機と自らが関心を持つ項目について考えておく。	博士号の取り方 学生と指導教官のための実践ハンドブック EM Philips, DS Pugh 著	703 教室
2	4/9 (火) 2 限	日高 (研究 倫理教 育責任 者)	ユニット 2 研究倫理	研究倫理に関する意識を高め、研究者に求められる行動規範を理解する。	1) 社会に対する科学者の基本的責任と姿勢を説明できる。 2) 特定研究不正行為 (ねつ造、改ざん、盗用) を説明できる。 3) 研究不正に気づかずに問題が発生することを防ぐため、具体的事例を分析する。	「研究不正行為」をインターネットで検索しておく。	声明科学者の行動規範一改訂版 — (日本学術会議、平成 25 年) 研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン (文部科学大臣、平成 26 年) 科学の健全な発展のために 誠実な科学者の心得 (日本学術振興会 丸善)	703 教室
3	4/9 (火) 3 限				1) 研究成果を知的財産として扱うことの重要性を説明できる。 2) 研究の公正性を証明することの重要性を説明できる。 3) 適切なラボノート (実験ノート) の作成ができる。	各自実験ノートを準備し、記載を始めておく。	ラボノートの書き方 隅蔵康一 他著 羊土社	703 教室

回	授業日時 限	授 業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
4・5	4/16 (火) 4限・5限	田中 (アニマルセンター長)	ユニット3 実験動物の科学性と倫理	動物実験を行うための基礎知識と実際の手続きを理解する。	1) 倫理に基づいた動物実験の重要性を説明できる。 2) 動物愛護関連法令に基づいた動物実験計画を立案することができる。	「動物の愛護」についてインターネット等で調べておく。	実験動物指針 アニマルセンターホームページ	703 教室
6	4/30 (火) 4限	永嶋	ユニット4 臨床研究の倫理	人対象研究の倫理指針「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」およびその関連法規等を理解する。	1) 臨床研究倫理の基本原則を説明できる。 2) 倫理指針に沿って倫理審査申請書を作成できる。	福岡学園 事務情報共有システムの「各種委員会申請書等」より倫理審査関連書類を入手、熟読しておく。	1) 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省) 2) 臨床研究法 3) ヘルシンキ宣言 (世界医師会) 4) 個人情報保護法	502 教室
7	4/30 (火) 5限	池邊 (コンプライアンス責任者)						
8	5/7 (火) 5限	荒川	ユニット5 バイオハザード・バイオセーフティ	ヒトや動物由来の検体には病原体が潜む可能性を想定し、理解する。また、関連法規を理解する。	微生物汚染の防止と拡大回避対策を説明できる。	感染症法についての自身の知識を確認しておく。	配布プリント	502 教室
9	6/11 (火) 4限	島津	ユニット6 生物医学統計処理法	疫学・臨床疫学研究の基礎となる生物統計処理の基本を理解する。	質問紙調査データの整理、分析法を説明できる。	疫学研究の種類やエビデンスレベルについて調べておく。	特に指定しない。	502 教室
10	6/11 (火) 5限	谷口			臨床研究の設計、計測データの整理、分析法を説明できる。			